

10 - 3 カムチャツカ半島付近の地震 The 2025 Kamchatka Peninsula Earthquake

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

[カムチャツカ半島付近の地震 (7 月 30 日 M8.8)]

第 1 図は、2025 年 7 月 30 日 8 時 25 分 (JST) にロシア連邦カムチャツカ半島付近で発生した M8.8 の地震に関する資料である。

第 1 図上段に水平変動ベクトル図を示す。固定局は飛島観測点 (山形県) である。この地震に伴い、礼文観測点で約 0.6cm、稚内 3 観測点で 0.6cm 等、北海道北部でわずかな地殻変動が観測された。第 1 図下段に 3 成分時系列グラフを示す。いずれの観測点においても地震前は特段の変動は見られない。

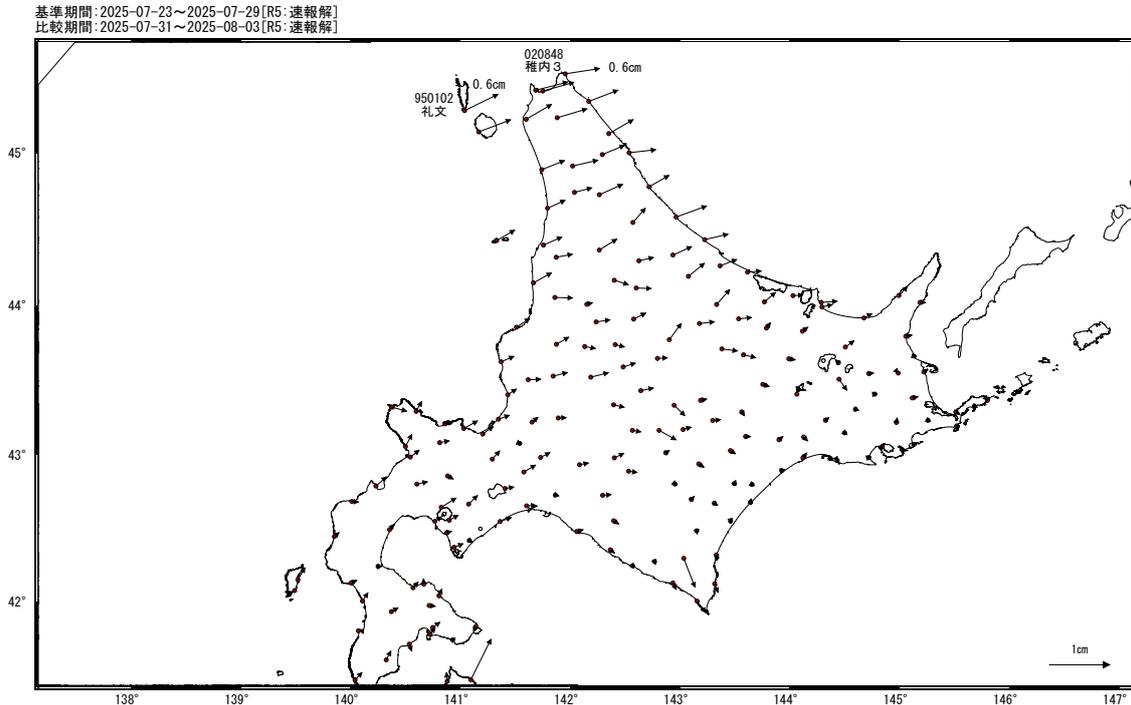
第 2～3 図は「だいち 2 号」データの解析結果に関する資料である。解析に用いたデータの諸元は、第 2 図下段に示すとおりである。第 2 図左に北行右観測、第 2 図右に南行右観測の SAR 干渉解析画像及びアンラップ画像を示す。いずれにおいても、カムチャツカ半島南部で最大 1m 程度の変動が見られる。地殻変動のパターンは、地震のメカニズム (逆断層) と整合的である。第 3 図に、北行右観測、南行右観測のアンラップ画像を用いた 2.5 次元解析の結果を示す。カムチャツカ半島南部で 1m を超える東向きの変動が見られる。

(宗包 浩志)
MUNEKANE Hiroshi

カムチャツカ半島付近の地震(7月30日 M8.8)前後の観測データ (暫定)

この地震に伴わずかな地殻変動が観測された。

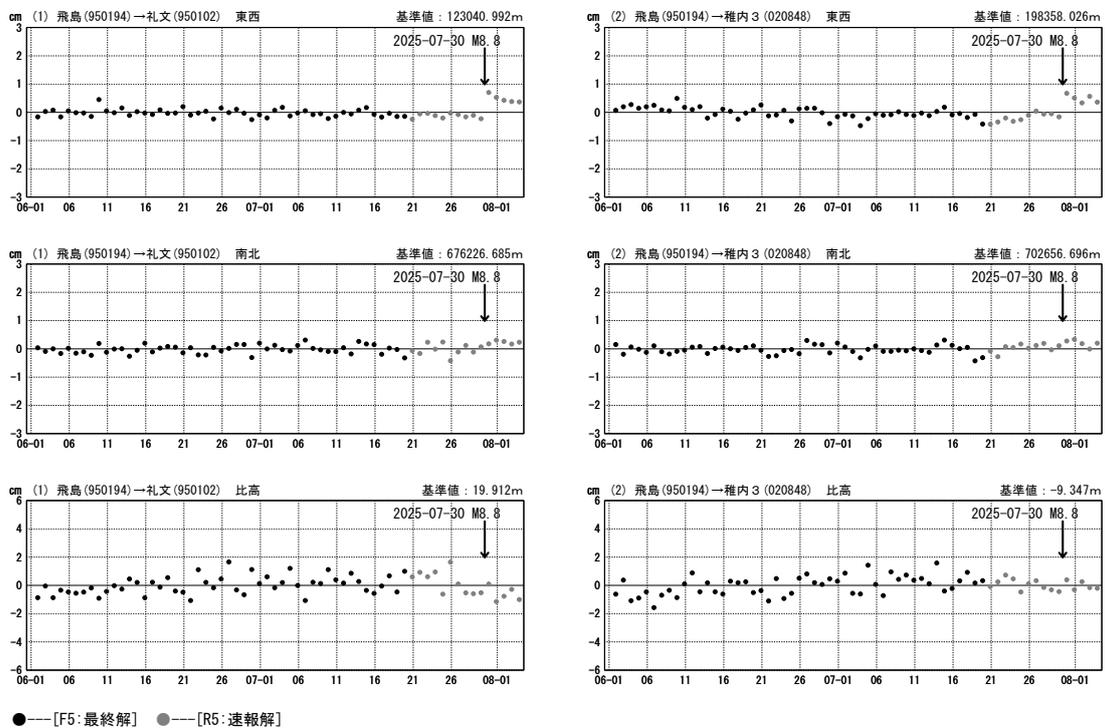
地殻変動(水平)



★固定局: 飛鳥(950194) (山形県)

成分変化グラフ

期間: 2025-06-01~2025-08-03 JST



第 1 図 カムチャツカ半島付近の地震(2025年7月30日, M8.8)前後の観測データ: (上図) 水平変動, (下図) 3成分時系列グラフ

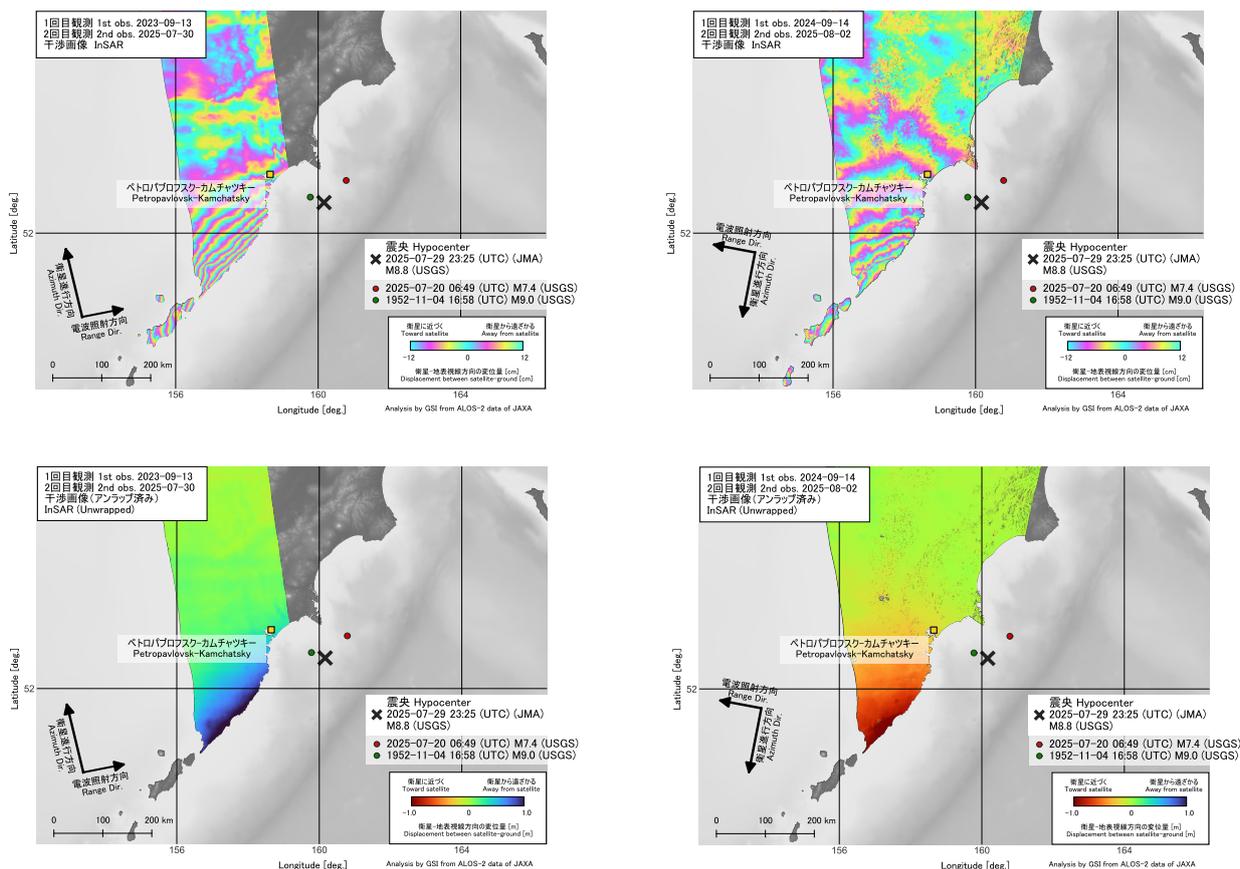
Fig. 1 Results of continuous GNSS measurements before and after the M8.8 earthquake around the Kamchatka Peninsula on July 30, 2025: (top) horizontal displacement (bottom) three components time series (preliminary).

令和7年8月5日
 国土地理院

「だいち2号」観測データによるカムチャツカ半島付近の地震の SAR 干渉解析結果

判読結果

・カムチャツカ半島南部で1m程度の変動が見られます。



使用データ
 衛星名: だいち2号
 観測日時
 パス113 フレーム1000-1100
 1回目: 2023年9月13日
 2回目: 2025年7月30日 13:20頃(UTC)
 観測モード: W-W
 衛星進行方向: 北行
 電波照射方向: 右
 入射角: 37.3°
 偏波: HH
 垂直基線長: -135.6 m
 精密暦

使用データ
 衛星名: だいち2号
 観測日時
 パス010 フレーム2500-2600
 1回目: 2024年9月14日
 2回目: 2025年8月2日 01:40頃(UTC)
 観測モード: W-W
 衛星進行方向: 南行
 電波照射方向: 右
 入射角: 34.9°
 偏波: HH
 垂直基線長: 25.9 m
 精密暦

本解析で使用したデータは、地震活動SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。

第2図 SAR 干渉解析結果
 Fig. 2 SAR interferogram.

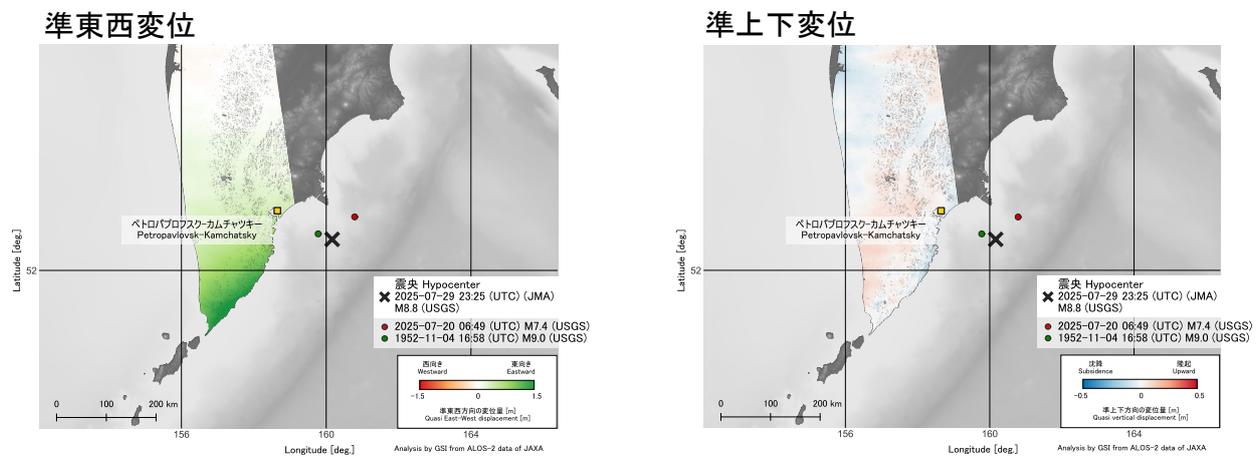
令和7年8月5日

国土地理院

「だいち2号」観測データによるカムチャツカ半島付近の地震の SAR 干渉解析結果

判読結果

- ・カムチャツカ半島南部で1mを超える東向きの変動が見られます。



本解析で使用したデータは、地震活動SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。

第 3 図 SAR 干渉解析結果

Fig. 3 SAR interferogram.